女湯の脱衣所に清掃のオヤジが乱入！パニックになる女の子たち

夏休み真っ只中の都内にある大規模レジャー施設「アクアパラダイス」は、今年も多くの学生たちで連日大盛況。

広大な屋外プールエリアに複数のウォータースライダー、波のプール、流れるプール、そして本格的な温泉ゾーンを備えた人気レジャー施設である。

特にこの日は天気も抜群で、朝から多くの若い女の子たちがグループで訪れていた。プールで遊び疲れた体を温泉

で癒そうという女の子たちが、次々と女湯エリアに流れ込んでくる。

女湯の脱衣所は、施設の中でも特に広々と設計されていた。ロッカーが壁一面に並び、ベンチも十分にあり、シャワールームへの通路もゆったりしている。利用者たちは皆、プールで遊び疲れた体をリラックスさせようとしていた。

目立っていたのは、大学生5人組の彩花、美咲、凛、結衣、加奈子のグループだ。彼女たちは朝からプールで全力で遊んでいた。

彩花は、ビキニを脱ぎながらため息をついた。「はあ、今日の滑り台やばかったね。足がプルプルする……」

彼女は細身の体型で、鎖骨が美しく浮き出る。

隣でグラマーな美咲が笑う。「彩花はスリムだからいいよね～。私は胸が邪魔で泳ぎにくかったわ」

美咲は豊満なバストを誇る体型で、ブラトップを外した瞬間、重みのある胸が柔らかく揺れた。彼女は恥ずかしがりながらも、友達の前では平気で下着を脱ぎ始める。

クール系の凛はすでに全裸になり、タオルで髪をまとめていた。「流れるプール楽しかった～。のんびり浮かんでるだけで面白い！」

彼女のスタイルはモデル並みに整っており、引き締まった腰回りと長い脚が印象的だった。

小柄で童顔の結衣は、いつも一番恥ずかしがり屋だ。

「みんな平気で脱ぐよね……私、まだ心の準備が」

活発な加奈子は一番ノリが良い。「結衣ちゃん、大丈夫だって！ほら、一緒に脱ごー！」加奈子はすでに全裸で、元気よく胸を揺らしてジャンプしながらタオルを振る。

少し離れたロッカーエリアでは、高校生3人組も脱衣中だった。元気なリーダータイプの遥香は、「ねえ、さっきの波のプールで波に飲まれたの超ウケた！」と楽しげに喋る。

友達の優菜は照れ笑い。「やめてよ～。水着ずれて大変だったんだから」

小春は一番小柄で、ややぽっちゃりとした可愛らしい体型。「私は浮かんで

るだけで楽しかった……でもお腹すいた」

彼女たちも笑い声を上げながら楽しそうだ。

さらに奥のエリアでは、20代前半の社会人グループがいた。OLの沙織は今日は久々のオフだ。「プールって久しぶりで疲れた……温泉でゆっくりしたい」　沙織は細身の体を丁寧に拭きながら、水着を脱いでいく。

その隣の陽子は、明るい茶髪の可愛い系。「沙織ちゃん、温泉終わったらまたプール行く？もっと遊ぼうよ。次はスライダー何回行こうか」とまだまだ元気。

陽子は巨乳で、ピンク色の乳首がかわいい。ボトムスを下ろすと、形の良いお尻が露わになる。

その他にも、30歳前後の女性たちや、初めて施設に来たという女子高生グループ、友人同士で来ていた中学生くらいの姉妹など、脱衣所は多様な女の子たちで溢れていた。

誰もが思い思いに水着を脱ぎ、裸の体をタオルで拭き、髪を直し、化粧を落とす。女湯特有の開放的な空気が満ち、笑い声や他愛もない会話があちこちから聞こえてくる。濡れた髪から滴る水滴、肌に張り付くタオル、鏡に映る様々な体型――スレンダー、グラマー、ぽっちゃり、引き締まったアスリート体型など、すべてが自然にさらけ出されていた。

しかし、その平穏が突然、音を立てて崩れ去った。

ガラッ。

引き戸が開く音が響いた。続いて、作業着姿の清掃のオヤジが入ってきた。